

## 【事業者向け】放課後等デイサービス自己評価表

作成日：2020年8月4日  
事業所：鶴ヶ峰もえぎさくら

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見	改善策
		数が多かった方に「○」をつけさせて頂いております。				
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			適宜、スタッフ間で相談して配置を考えている クールダウンできる場所や音の苦手な(敏感な)児童が静かに過ごせるスペースを施設内で共有しながら行えるようになってきた。	・今後も施設内で共有しながら、上手に組み立てて参ります。
	② 職員の配置数は適切であるか	○			もえぎ、さくら間で上手く補充しあっている。	・他施設からのヘルプを引き続き発信して、人員配置を継続して参ります。 ・積極的な求人募集をかけ、足りない人員の補充を継続して参ります。
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		車両、建物等配慮が少し良くなった。	・車両については、さらに気を引き締めて、安全運転に努めて参ります。 ・職員の環境整備に対する意識を高めるため、定期的に研修を行ったり、美化清掃に努めて参ります。
業務改善	④ 業務改善を進めるための、PDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○				
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○				
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○				
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		第三者機関がなく、高圧的な職員や”レッテル貼り”が見られ、風通しが悪い。	・まずは、職員間でのコミュニケーションをしっかりと図っていき、確認して参ります。
⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか		○		社内での研修をもっと欲しい。特に新しい職員はパートも含め研修をするべき。入職時の研修、入職後の研修など会社としての研修が確保されていない。	・平日は比較的時間のゆとりがもてる午前中を活かして、職員研修に取り組んでいき、情報交換し、向上に繋げて参ります。	
適切な支援の提供	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○				
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○				
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			ミーティングにて行っている。	・引き続き、行って参ります。
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			ミーティングにて行っている。個別の興味・関心のある活動を多彩にする(様々リサーチする)。	・個に合わせてサブプログラムを展開して取り組んで参ります。
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			長期休暇前は学校へヒアリングをしてこちらでも出来る事を行っている。	・継続して行って参ります。
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			その児童の特性に合わせて行っている。	・継続して行って参ります。
	⑮ 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○				
	⑯ 支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	○				
	⑰ 日々の支援に関して正しく記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○				
	⑱ 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○				
	⑲ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○				
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○				
	㉑ 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○				
	㉒ 医療ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○				
	㉓ 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○			今後は、積極的に営業活動を行っていき、情報共有や連携を図って参ります。
	㉔ 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○				
	㉕ 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○			今後は、積極的に営業活動を行っていき、情報共有や連携を図って参ります。
	㉖ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会はあるか		○		他機関との交流はなく閉鎖的	・積極的に外部との交流をもっていけるよう、まずは施設内を安定した運営ができるよう改善していけるよう継続的に行って参ります。
㉗ (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○					

保護者への説明責任等	⑳	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			
	㉑	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			
	㉒	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			
	㉓	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			
	㉔	父母会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			
	㉕	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			
	㉖	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			
	㉗	個人情報に十分注意しているか	○			
	㉘	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
	㉙	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			
非常時等の対応	㉚	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		月に1回避難訓練を行っている	・継続して行って参ります。
	㉛	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		月に1回避難訓練を行っている	・継続して行って参ります。
	㉜	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか		○		
	㉝	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			
	㉞	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			
	㉟	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			

その他のご意見
